



ともに挑み、
ともに創る

 印西市役所

採用ピッチ資料

ともに挑み、 ともに創る

これが、新たな印西市をともに創る仲間に向けたメッセージです。

令和6年7月に県内最年少市長として就任した藤代市長のもと、新たな市役所、そして、
新たな印西市を「ともに挑みながら、ともに創っていく」そんな仲間を私たちは求めています。

令和7年度(令和8年4月1日採用)採用試験から新設した「先行実施枠」や「テストセンターでの試験実施」なども
私たちにとっては「新たな挑戦」の一つです。

人口増加率で全国の市で3位となった印西市は、子育てがしやすい、住みやすいまちとして評価をいただいています。

私たちは、「今ある良さはそのままに、さらに魅力的なまちづくり」に本気で取り組んでいます。

印西市がさらに魅力的なまちになるためには、職員一人ひとりが自ら考え、挑戦し続ける必要があります。

そのような想いに共感し、印西市に可能性を感じる皆さん、

私たちとともに新たなまちづくりに挑み続け、50年先の印西市の未来を「とも」に創りましょう。



Learn and
Be Curious





印西市役所について



1 市役所の概要

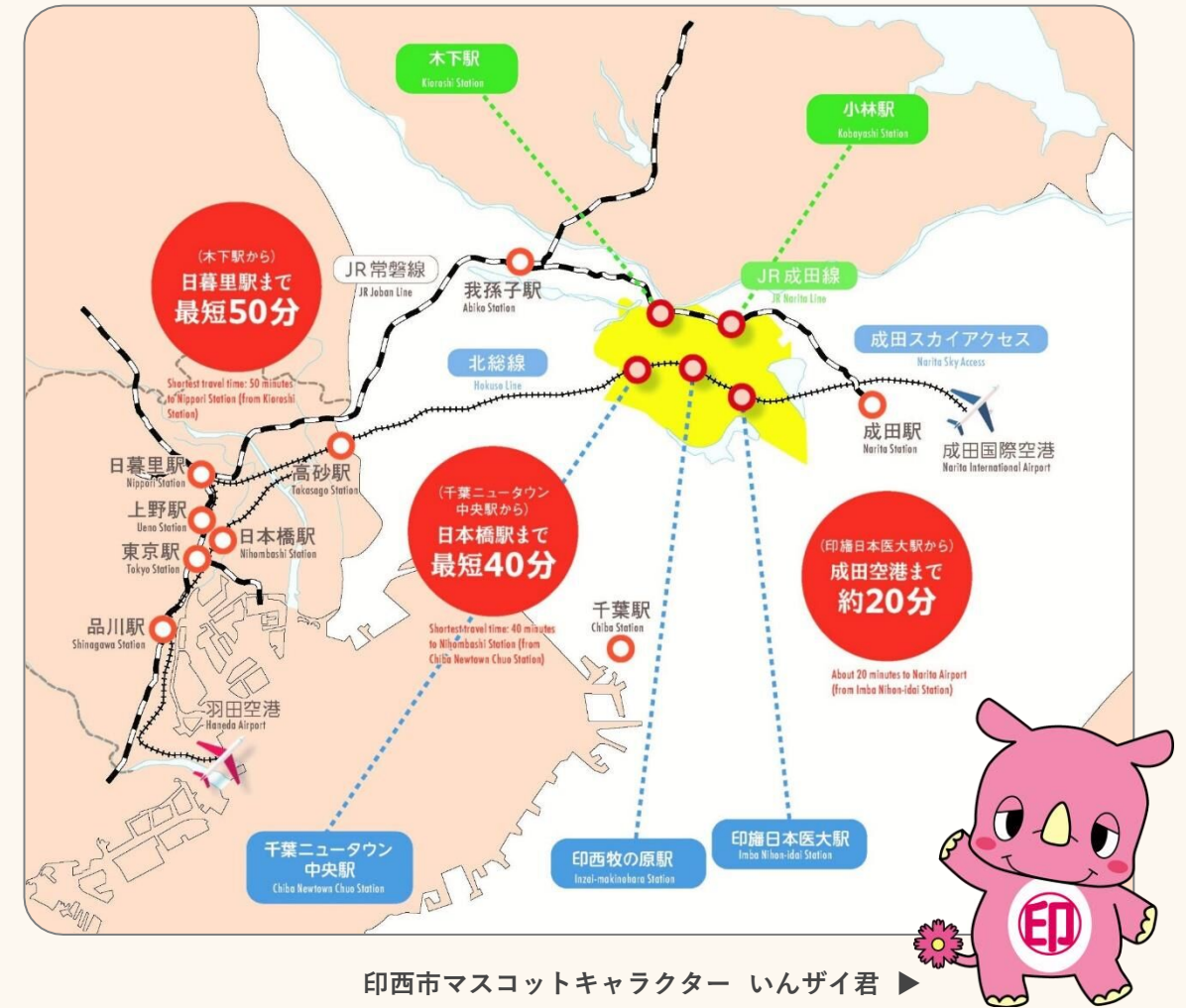
(令和7年4月1日時点)

所在地 千葉県印西市大森2364-2

部署数 9部 4行政委員会 計46課（行政委員会含む）

職員数 739名（常勤職員のみ）
男 429名 女 310名
平均年齢 44.1歳 ※一般行政職のみ

重点事業 教育・子育て環境の整備、公民連携事業、起業・創業支援事業、シティプロモーション、グリーンインフラ、公園等の公共空間の利活用など



1 2 印西市の概要と沿革

(令和7年8月31日時点)

人口 111,972人

面積 約123平方キロメートル

世帯数 46,568世帯

● 人口10万人突破

● 藤代健吾市長就任

● 1市2村合併

● 市制施行

人口
約6万人

平成8年

人口
約9万人

平成22年

人口
約10万人

平成30年

人口
約11万人

令和6年

市制施行30年

令和8年4月入庁の方々は、
市制施行30年目の節目の職員です。

令和8年

約30年



令和7年度の 採用試験について





令和7年度採用試験概要

1

先行実施枠の実施

令和7年3月3日（月）から募集を開始し、6月末に最終合格を発表します。
例年より4か月程度早く内定が決定します。

2

公務員試験対策不要の試験を実施

先行実施枠を含む市独自の試験では、従来の試験会場での筆記試験（教養・専門）に代えて、民間企業を志望している方や転職活動をしている方でも受験しやすい基礎能力検査等をテストセンターで実施します。
また、技術職については、専門試験のみの試験とし、更に一定の資格を有する場合には、専門試験を免除します。

3

人物重視の選考

応募者全員の表情や話し方などを確認したいため、先行実施枠を含む市独自の試験では、第1次試験で録画面接を実施します。
また、受験者との対話を重視するため、個人面接を2回実施します。

4

採用試験を年に複数回実施

印西市が独自で実施する採用試験を年度に2回実施予定（先行実施・秋実施）。また、印旛郡市広域市町村圏事務組合が実施する印旛郡市職員採用共同試験（上級・初級）に参加予定。いずれの試験も併願可能です。
試験によって受験資格（受験年齢、学歴等）を変更し、幅広い年代の方が受験できるようにします。

2 人物重視の選考を実施する理由

地方分権改革に伴い、地方自治体は自らの判断と責任において、地域の課題に取り組むこととなり、自治体職員には、課題発見・解決能力、コミュニケーション能力などがより求められるようになりました。このような人材を確保するには、従来型の公務員志望者からの選抜だけでは限界があり、民間企業志望者や現に民間企業等で仕事をされている方など様々な人材の力が必要です。

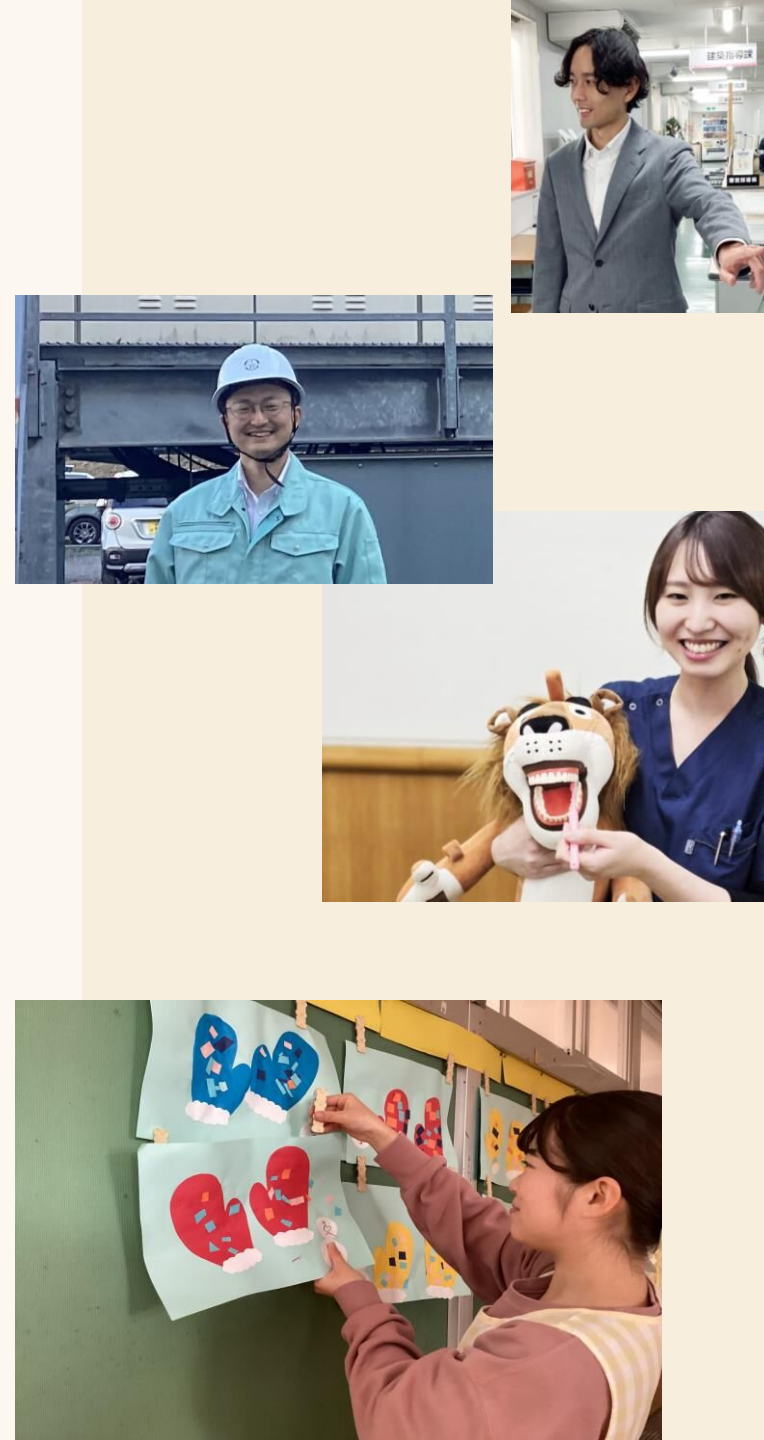
一方で、民間の調査結果等から、公務員になるためには公務員試験に向けた勉強や準備が必要なため、ハードルが高いものだと考えられており、また、試験の実施時期が民間企業よりも遅いこと等の理由により、就職先の選択肢にすら加えない方が多くいるものと認識しています。

そのような現状に対応するため、印西市の独自採用試験では、令和7年度から従来の公務員試験（教養試験・専門試験）に代えて、基礎能力検査による試験を実施しています。

また、より人物を重視する観点から基礎能力検査の前に必ず受験者全員の表情や話し方などを録画面接により拝見いたします。

面接試験では、一人ひとりとの対話を大事にするため、個別面接を2回実施し、受験者の人柄や印西市で働く想いなどをしっかり聞かせていただきます。

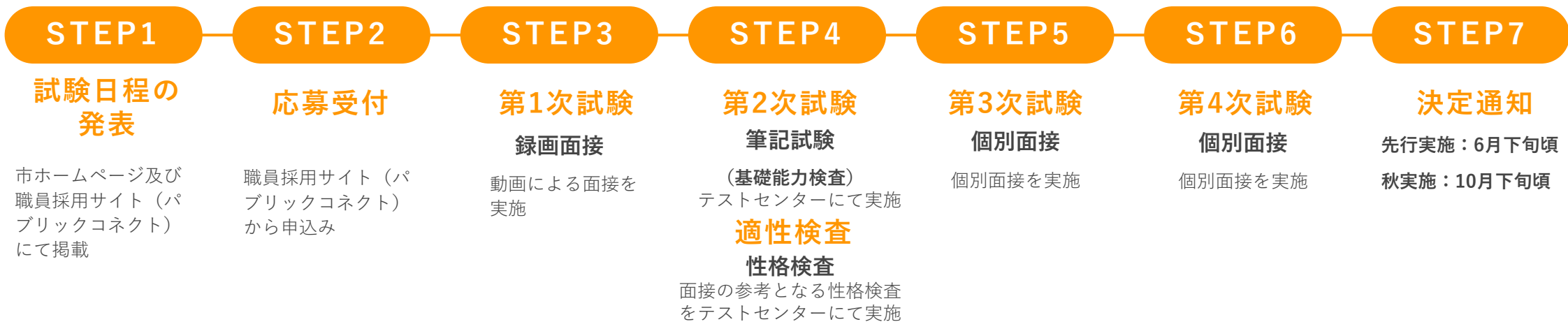
印西市は更なる発展のために、多様な人材を採用していきます。公務員志望者はもちろんのこと民間企業を志望している方や仕事をしながら転職活動をされている方など、様々な経験、スキルを持った方のご応募をお待ちしています。



2 3 試験の流れ

試験により日程が異なるため、詳しい日程については、職員情報サイト（パブリックコネクト）をご確認ください。

独自採用試験



※技術職（土木・建築・電気・機械）については、第2次試験（筆記試験）が専門試験となります。

共同採用試験





印西市役所で働く魅力





「世界モデルのまちへ」

印西が変われば、日本が、そして、世界が変わる

印西市は成田空港と東京駅の間に位置するため、**日本に来た世界の方々は、最初に印西市の風景を目の当たりにします。**

つまり、印西市が素晴らしいまちであれば、世界の方々が印西市のまちづくりに共感し、
その方々が自国にその思いを持ち帰り、印西市のまちづくりが世界に広がると信じています。

それを実現するために、まずは**印西市が抱える様々な課題を先進的な手法で市民とともに解決**していき、これを市内で展開していきます。

良い前例を作れば、他の自治体へも伝わり、日本中に広がります。

まずは印西市で始め、**印西市になれば、安全に暮らせる、安心して暮らせる、幸せに暮らせる。すぐ始められる。**

印西市は日本中から、そして世界中から「**印西モデル**」とよばれるような**まちづくり**を目指します。

私たちとともに「世界モデルのまち」を創りましょう。

立地の良さ

- 北部を利根川、南東部を印旛沼、北西部を手賀沼に囲まれ、その恵まれた水辺環境より形成された水田地帯と里山と呼ばれる下総台地特有の谷津が広がり、自然がとても豊かです。
- 台地部には、千葉ニュータウン事業により整備された住宅と公園、オフィスビルや大型商業施設、データセンターなどが立ち並び豊かな自然と都市機能が調和した住環境が人気を集めています。
- 成田空港と東京駅の間にあるため、都心にも海外にもアクセスが良いのが特徴です。日本に来た世界中の方々が日本に来て初めて見る日本の風景が印西市の風景です。



人口の増加

- 総務省が令和6年7月に発表した住民基本台帳に基づく人口動態調査（2024年1月1日時点）では、人口増加率が全国の市で3位です。
- 全国的にも珍しく出生数が死亡数を上回る自然増となりました。
- 子育て世代の転入が多く、若い世代を中心に支持を集めています。



安定した財政

- 千葉ニュータウン事業の進展等に伴う人口の増加や災害に強い地盤、都心からのアクセスの良さといった地理的な優位性により、多数の企業が進出し続けていることで、安定的な税収が見込めます。
- 今後も戦略的に企業誘致を行っていきます。
- 財政力指数が1.06で約1,700ある市町村で第52位、県内54市町村中5位（令和5年度調査）です。



「攻めのまちづくり」

人口の増加と企業の進出により、財政が安定し、都市の利便性と自然の豊かさが共存する稀有な自治体
市民が求める思いに積極的に挑める環境が整っています。



● 給食費完全無償化

令和6年9月から市内全小中学校の児童生徒の学校給食費を無償としました。

● ICT教育の推進

文部科学省が進める情報教育推進校である印西市立原山小学校出身の中学1年生の同級生チーム「ブルーデージー」が、青少年ロボット競技世界大会「ファーストレゴリーグチャレンジ」に出場し、ロボットデザイン部門で世界2位を獲得しました。

● 教育環境の整備

過大規模化する小中学校の分離新設を行います。また、市内全小中学校の体育館にエアコンを設置します。

● 市民団体などと連携した地域の学び場づくり

UR都市機構と協定を締結し、UR賃貸住宅内の集会所や屋外空間を活用して、地域における多様な学び、体験活動を実施します。



● 送迎保育ステーションの整備

駅前等に保育ステーションを設置し、各保育所等への送迎を実施します。

● 全天候型の子どもが過ごせる施設の整備

季節や天候などに左右されずに、全ての子どもや若者が安全・安心に過ごし、楽しむことができる子どもの居場所づくりを進めます。

● 子ども医療費助成事業

高校3年生相当年齢までを対象とした医療費助成を引き続き実施します。



● グローバル企業の誘致

地盤が強く、成田空港と東京駅の中間の位置にある地理的優位性を生かし、世界的企業のデータセンターを誘致しています。

今後も世界で戦える産業を誘致します。

● 経済循環づくり

地元の業者と地域内での経済循環促進事業を推進していきます。

● 起業・創業支援

まちに新たな魅力をもたらし、未来の産業に繋がる企業・創業拠点を整備します。



● 地域の新たなシンボルとなるイベント・拠点の創出

- 印西まちなか音楽祭や印祭サマーフェスの更なる展開を実現します。
- 公共施設でのPark-PFIを推進していきます。
- 神楽・御神輿・獅子舞などの伝統行事を支援するとともに、文化財を保護します。
- 印旛沼・利根川や豊かな里山を生かした体験型観光プログラムを推進していきます。



印西市での働き方





一般事務

行政（一般事務）

各種施策の企画立案・実施、経理、庶務、市税の賦課徴収、許認可事務など、様々な分野で幅広い業務に従事します。

主な配属先

市長事務部局各部、上下水道部、教育委員会事務局等



デジタル

行政（デジタル）

情報システムの運用、ネットワークの管理、情報セキュリティ対策、ITを活用した業務改善の企画立案・事業推進等の業務に従事します。

主な配属先

DX推進課、事業展開に伴いデジタル職が必要となる部等



社会福祉主事

行政（社会福祉主事）

児童福祉・高齢者福祉・障がい福祉や生活保護に関する相談、援助業務、福祉施策の企画立案・事業推進等の業務に従事します。

主な配属先

福祉部（子ども発達センター含む。）、健康子ども部（保健センター含む。）等



司書

行政（司書）

資料の選定・収集・整理、図書館資料の貸出やレファレンスサービス、図書館施策の企画立案・事業推進等の業務に従事します。

主な配属先

各図書館



建築

都市計画等の分野での事業計画、建築指導、審査、景観の保全・再生、庁舎、公共施設の計画・設計・施工監理の業務に従事します。

主な配属先

都市建設部、企画財政部（企画政策課、資産経営課）、上下水道部、教育委員会事務局（教育総務課）等



土木

道路、河川、公園等の公共土木施設、上下水道等に関する事業計画・設計・積算・施工監理、都市計画等の業務に従事します。

主な配属先

都市建設部、企画財政部（資産経営課）、上下水道部、教育委員会事務局（教育総務課）等



電気

公共施設の電気設備工事の設計・施工監理、電気設備の維持管理・整備等の業務に従事します。

主な配属先

都市建設部、企画財政部（資産経営課）、上下水道部、教育委員会事務局（教育総務課）等



機械

公共施設の機械設備工事の設計・施工監理、機械設備の維持管理・整備等の業務に従事します。

主な配属先

都市建設部、企画財政部（資産経営課）、上下水道部、教育委員会事務局（教育総務課）等



保育士

保育園、幼稚園、児童館、子ども発達センター等にて園児等の保育・教育を行います。

※印西市では、幼稚園教諭の免許を有していることを受験資格としています。

主な配属先

保育園、幼稚園、児童館、子ども発達センター等



保健師

健康相談、健康診断、健康教育、健康施策の企画立案・事業推進等の業務に従事します。

主な配属先

健康子ども部（保健センター、保育園、幼稚園含む。）、福祉部（子ども発達センター含む。）、教育委員会事務局等



栄養士

給食献立作成、保健指導、健康教育、食育施策の企画立案・事業推進等の業務に従事します。

主な配属先

教育委員会事務局（学校給食課、各給食センター、指導課）、健康子ども部（保健センター含む。）等



歯科衛生士

保健指導、健康教育、歯科口腔保健施策の企画立案・事業推進等の業務に従事します。

主な配属先

健康子ども部（保健センター）、福祉部（子ども発達センター）、教育委員会事務局（指導課）等

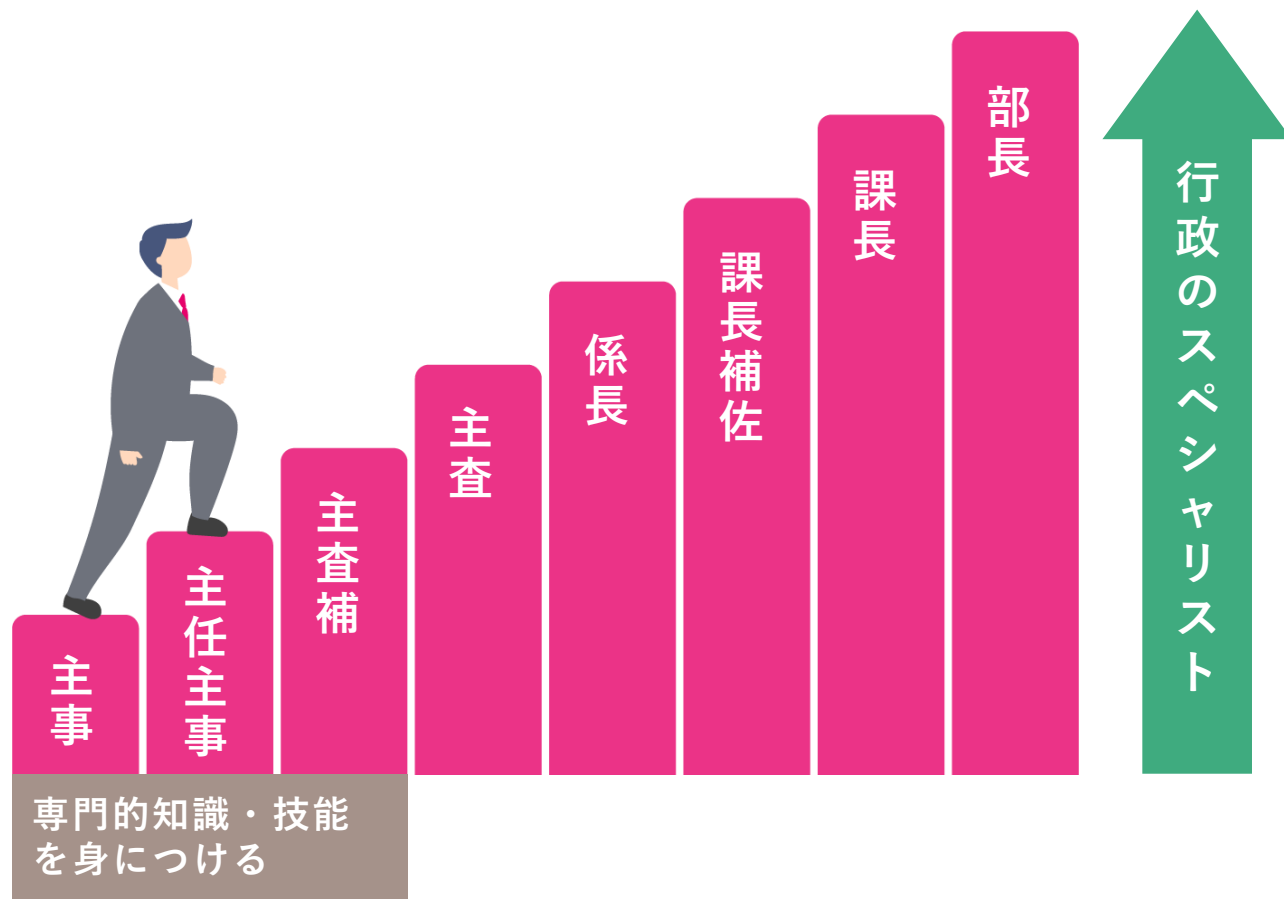
配属

- 若手職員には、多様な経験と幅広いものの見方や考え方、知識や技術を身に付けてもらうといった人材育成の観点から比較的短い期間で色々な部署を経験してもらいます。
その中で、自分自身が得意とする専門性を見つけてもらいます。
- キャリアを形成していく中で、自分自身の得意とする専門性を身につけ、その分野の行政のスペシャリストを目指してもらいます。

人事異動

- 4月1日、10月1日に実施
- 意向調査の実施（1回／年）

キャリア形成のイメージ



4 3 職員育成・研修制度

「職場研修（OJT）」、「職場外研修（OFF JT）」、「自己啓発」を
人材育成の基本とし、様々な研修を実施しています。

1年目職員の研修

- 印西市新規採用職員研修
入庁後すぐに総合計画、財務、文書、服務などについて学びます。
- 印旛郡市新規採用職員研修
5月頃に印旛郡内の自治体の新規採用職員と合同で地方公務員制度などについて学びます。
- 接遇能力向上研修
住民対応における接遇の心構えなどについて学びます。
- 救命救急講習
印西地区消防組合による指導のもと、応急手当の基礎について、実技を中心に学びます。
- 安全運転研修
基本的な運転スキルの見直しを、教習所にて行います。
- その他、庁内で実施される各種研修に随時参加

自己啓発休業・修学部分休業

- 一定期間又は部分的に職場を離れ、大学などで勉強をしたり、国際貢献活動を行うことができる休業制度

その他、主な研修

- 派遣研修
研修生として国、県、自治大学校、市町村アカデミー、都市経営プロフェッショナルスクール、民間企業等へ職員を派遣
- 専門研修
政策形成研修、パソコン研修、課題別研修 など
- 特別研修
印旛郡市広域市町村圏事務組合や自治研修センター等が実施する階層別ごとの研修

庁内公募制度

- 市の重点事業の担当者を募る制度
職員自らが市の重点事業の担当者に応募し、選考を経て、希望の部署に配属されます。

【重点事業】

教育・子育て環境の整備、公民連携事業、起業・創業支援事業、シティプロモーション、グリーンインフラ、公園等の公共空間の利活用 など

時間外勤務の縮減

- 民間経験者であるCIO補佐官を登用するなど、IT・行政DXの推進による業務の効率化、簡素化や、ノー残業デー（毎週水曜日）の実施など、働き方改革に取り組んでいます。

過去の平均時間外勤務時間

- ・ 令和3年度 10.9 h / 月
- ・ 令和4年度 11.0 h / 月
- ・ 令和5年度 10.1 h / 月
- ・ 令和6年度 10.3 h / 月

年次有給休暇

- 年間20日の年次有給休暇が付与されます。

過去の平均取得日数

- ・ 令和3年度 13.9日 / 年
- ・ 令和4年度 14.5日 / 年
- ・ 令和5年度 15.6日 / 年
- ・ 令和6年度 13.8日 / 年

育児・介護の両立支援

● 育児

- ・ 出産サポート休暇 : 不妊治療に係る通院等のための休暇
- ・ 産前産後休暇 : 出産のための休暇（出産予定日以前8週間から出産日の翌日から8週間）
- ・ 配偶者出産休暇 : 妻の出産に伴う入院の付き添い等のための休暇（3日以内）
- ・ 育児参加休暇 : 父親になった職員が育児に参加するための休暇（5日以内）
- ・ 育児休業 : 子の3歳の誕生日前日まで
男性取得率 89% 女性取得率 100%（令和5年度実績）
- ・ 部分休業 : 小学校入学前までの子を養育するため、1日の勤務時間の一部（2時間まで）を休業できる制度
- ・ 子の看護等休暇 : 義務教育終了までの子を看護等する必要がある場合に休暇を取得できる制度（7日以内）※子1人につき3日追加

● 介護

- ・ 介護休暇：家族等を介護する必要がある場合に取得できる特別休暇又は休業
短期 特別休暇（5日）
長期 休業（6か月を超えない範囲）
- ・ 介護時間：介護をしながら勤務をする場合に1日の勤務時間の一部（2時間まで）を休業できる制度

● 特別休暇

年次有給休暇の他に各種事由により特別休暇が取得できます。

- ・ 結婚休暇（5日）
- ・ 忌引
- ・ 夏季休暇（7日） など

給料について

● 初任給

- ・一般行政職 上級 : 225,600円 (大学新卒の場合) / 一般事務・社会福祉主事・司書・デジタル
- ・一般行政職 初級 : 194,500円 (高校新卒の場合)
- ・技術職 上級 : 225,600円 (大学新卒の場合) / 土木・建築・電気・機械
- ・保健師 : 262,700円 (大学新卒の場合)
- ・保育士 : 210,600円 (短大新卒の場合)
- ・栄養士 : 228,500円 (大学新卒の場合)
- ・歯科衛生士 : 216,300円 (短大新卒の場合)
- ・言語聴覚士 : 224,900円 (短大(3年制)新卒の場合)

■上記の金額に地域手当(12%)は含まれていません。

■卒業後に職歴がある場合や上位の学歴を取得した場合は、上記の金額に一定の基準で算出した金額が加算されます。

■入庁時に一定以上の社会人等の経験年数を有する場合は、その内容・期間等に応じて、職務の級(職位)の格付けが上位となるよう初任給決定を行います。また、入庁前の社会人等の経験年数は、入庁後の昇格の判断にも反映します。

■昇給日は毎年4月1日です。

| 昇給例 | 一般行政職(上級) | | 平均給与月額(一般行政職) |
|-----|-----------|----------|--------------------------------------|
| | 初任給 | 225,600円 | 422,957円 |
| | 5年後 | 252,100円 | 参考:千葉県 411,429円 |
| | 10年後 | 282,500円 | (令和6年4月1日時点) 令和5年度人事行政の運営等の状況の公表について |

手当について

● 扶養手当

配偶者: 3,000円

子: 11,500円 / 人

父母等: 6,500円 / 人

● 地域手当

(給料+扶養手当+管理職手当)の12%

● 住居手当

28,000円(限度額)

● 通勤手当

公共交通機関: 定期券代

自動車等: 片道2km以上で、距離に応じて

例) 片道10km 7,100円/月

● 時間外勤務手当

● 期末・勤勉手当

給料、地域手当等を基準として、6月期、12月期それぞれ2.3月分を支給

※給料及び各種手当は、令和7年4月1日時点のものです。今後、改正により変更となる場合があります。

4 若手職員の声 印西市で働く魅力

これからどんどん発展していく市なので、変革の波に乗りたならまさに今！

上司や先輩職員は忙しい時も必ず教えてくれるので、安心して業務にあたれる！

子育てと仕事の両立ができ、仕事のしやすい環境が整っている！

子どもが増えてきているので、保育士としてやりがいを持って働くことができる！

労働環境がよく、風通しもいい！

休みをとりやすい環境で自分の予定に合わせて仕事ができ、毎日充実して過ごせている！

職場環境が良く、働きやすい！

休暇が取りやすく、家族のためや自分のために働くことができる！

自分も住んでいる大好きな印西市で子ども達とかかわる仕事が出来て嬉しい！

夏休暇が7日あるので、旅行や連休でリフレッシュして仕事に意欲を持って働ける！

和気あいあいとしていて、周りからのサポートを受けやすい職場！

家族の急病時や自分の体調不良時、休むことに対する理解があり助かっている！

先輩方がやさしく教えてくれたり、困ったときに助け合える働きやすい職場！

印西市は、北総線があることで東京へのアクセスもしやすく、日常生活は印西市内で済ませることができるほど便利で住みやすい街！

優しい先輩方が丁寧に指導してくれる！

子どもが増えていて活気あふれるまち。子どものために尽力できる！

わからないことを聞いたり、自分の意見を言いやすい職場環境！

4 Q & A

Q 性別、年齢、居住地、学歴が試験の合否に影響しますか？

性別、年齢、居住地、学歴が合否に影響することはありません。全ての人に対して、平等な試験を実施します。

Q 採用試験に合格すると必ず採用されますか？

本人が採用を辞退した場合、必要な資格・免許を取得できなかった場合、虚偽があった場合等を除き、原則採用します。

Q 勤務中の服装は？

男性は、通年で原則ノーネクタイです。クールビズ期間（5月～10月）は、ポロシャツも着用可です。女性は、公務員としての品位を損なうことのないよう節度のある服装を心掛けてください。

Q 毎年全ての職種で採用試験を実施していますか？

年度によって、募集職種は変わりますので、随時、採用試験の情報をご確認ください。

Q 大学を卒業していないと、上級の試験区分の職種は受験できませんか？

受験資格（年齢要件など）を満たしていれば学歴に関係なく受験することができます。

Q 通勤方法はどのような方法を選択できますか？

自家用車、バイク、自転車、徒歩、公共交通機関（電車、バス）になります。

Q 過去の試験問題は、公表していますか？

公表していません。

Q 昇格試験は実施していますか？

昇格試験は実施していません。

Q 職員同士が親睦を図る機会がありますか？

職員会（任意加入）が実施するボウリング大会や懇親会などのイベントが年に数回あります。部活動（野球、フットサル、テニス等）も実施しています。

藤代 健吾市長からのメッセージ

令和6年7月の印西市長選挙で、印西市長に就任しました、藤代健吾です。

私は、地元である「印西市」が大好きです。そんな大好きな「印西市」をより良いまちに変えていくためには、市役所が変わることが必要不可欠だと感じ、令和6年7月の市長選挙に挑戦し、市長に就任させていただくこととなりました。

印西市は、「住みよさランキング」や総務省が行う「人口増減率ランキング」などで全国の上位に位置していますが、急速にまちづくりが進んできたからこそその課題が顕在化しつつあると私は感じております。私が市長に就任してからの4年間で、30年、50年先の印西市のまちづくりの転換点だと考え、職員の皆様方とともに印西市の未来のために尽力しています。

私が、職員の皆様方に一番求めていることは、課題を解決するための知見を持ち、市民の方々、企業や団体とともに、行政との垣根を超えて、全ての皆さんと問題解決に挑む強い気持ちを持つことです。

印西市の採用活動のスローガンは「ともに挑み、ともに創る」です。これを実践できる職員が、まさに私が求める職員像であり、目指すべき職員の姿勢です。印西市はまだまだ発展し続ける土台があります。他人任せではなく、まずは職員が一丸となって行動しなければなりません。

私の最終目標は、市長選挙で掲げさせていただいた「世界モデル」のまちづくりです。印西市は間違いなくその可能性を持っていると私は本気で思っています。そんな私の思いに共感ができ、30年、50年先の「印西市の未来をともに創る」仲間を私は求めています。

最終試験では、必ず全員とお会いし、一人ひとりとしっかり対話をさせていただきますので、皆様方のご応募を心よりお待ちしております。



藤代 健吾



印西市で私たち一緒に働きませんか



印西市役所